

これまでの治水対策と地元調整状況について

平成30年3月

近畿地方整備局 淀川河川事務所

京 都 府 京 都 市

<事業概要>

■目的

平成25年台風18号洪水に対し、堤防からの越水を防止する河道掘削等を実施

■期間

平成26年度から平成31年度まで

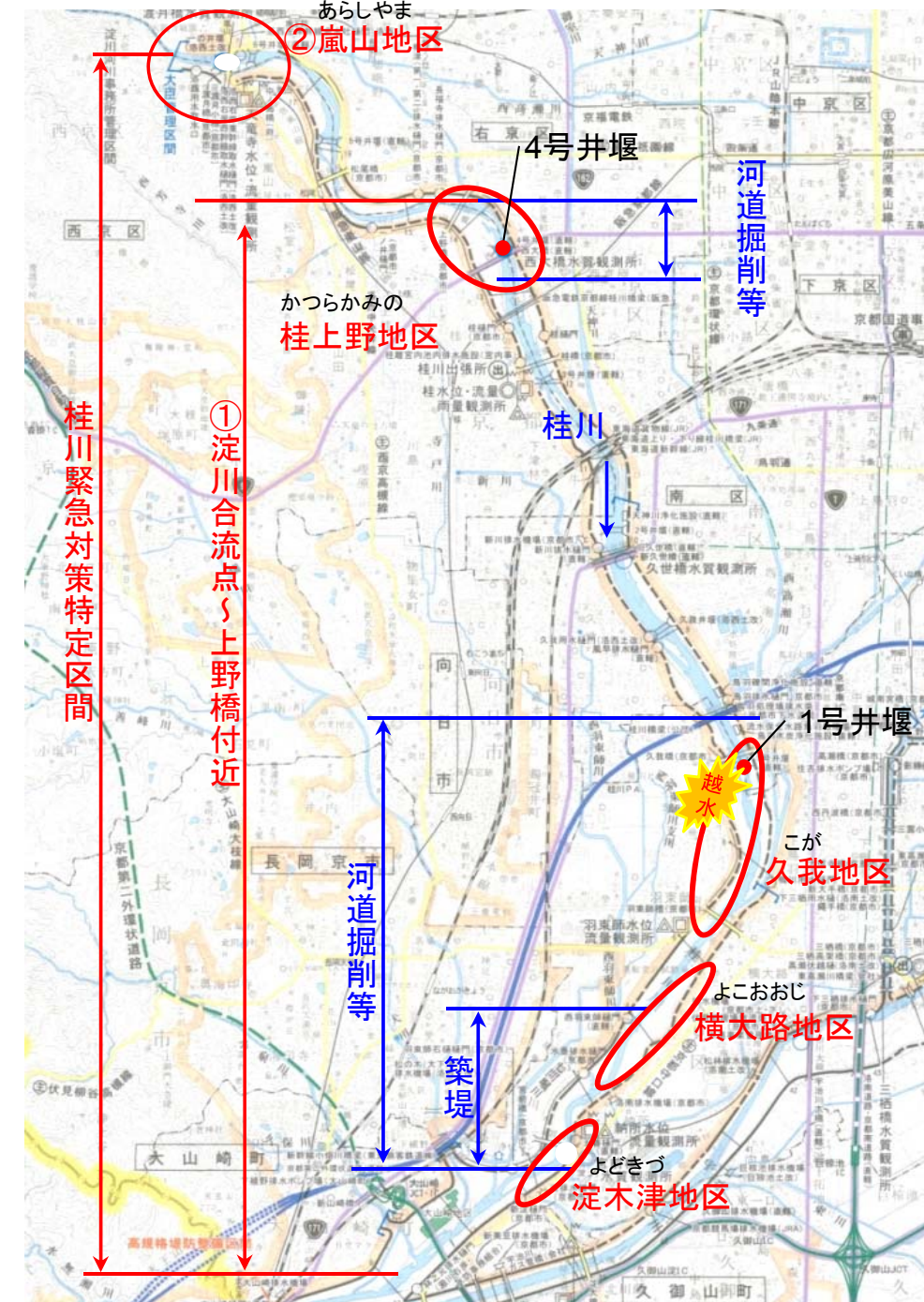
■実施内容

①淀川合流点～上野橋付近

- ・河道掘削
(^{かみ}桂上野地区、^{こが}久我地区、^{よこおおじ}横大路地区、^{よどぎつ}淀木津地区)
- ・井堰撤去 (1号、4号)
- ・築堤 (^{おおしもづ}大下津地区)

②嵐山地区

- ・堆積土砂撤去
- ・景観等への影響の小さい対策



方針の決定、詳細な検討着手

桂川嵐山地区河川整備検討委員会（H24. 7月設立）
行政・学識者で構成。これまで6回開催

地元意見とりまとめ

桂川嵐山地区河川整備地元連絡会（H24. 6月設立）
地元代表者で構成。これまで7回開催

地元主体で議論

桂川嵐山地区河川整備地元検討会（H28. 3月設立）
地元主体で議論する場。これまで7回開催

第5回検討委員会で提出された「地元意見陳述、及び要望」及び
第6回検討委員会で「早期に立ち上げるよう」とのご指導を受け、立ち上げ

検討内容の
説明、報告

意見、提言

行政三者会

- ・ 国
- ・ 京都府
- ・ 京都市

嵐山地区の緊急治水対策として、H16洪水を溢れさせない対策をH31年度末を目標に実施。

①堆積土砂撤去

第4回地元連絡会(H26.1月)で合意
H27年度完了

②6号井堰撤去

第6回地元連絡会(H26.10月)で合意
H29年度完了

③左岸溢水対策(パラペット+道路嵩上げ)

(地元より意見陳述及び要望 H26.10月)

- ・溢水対策の再考
- ・地元住民を交えた検討会の開催



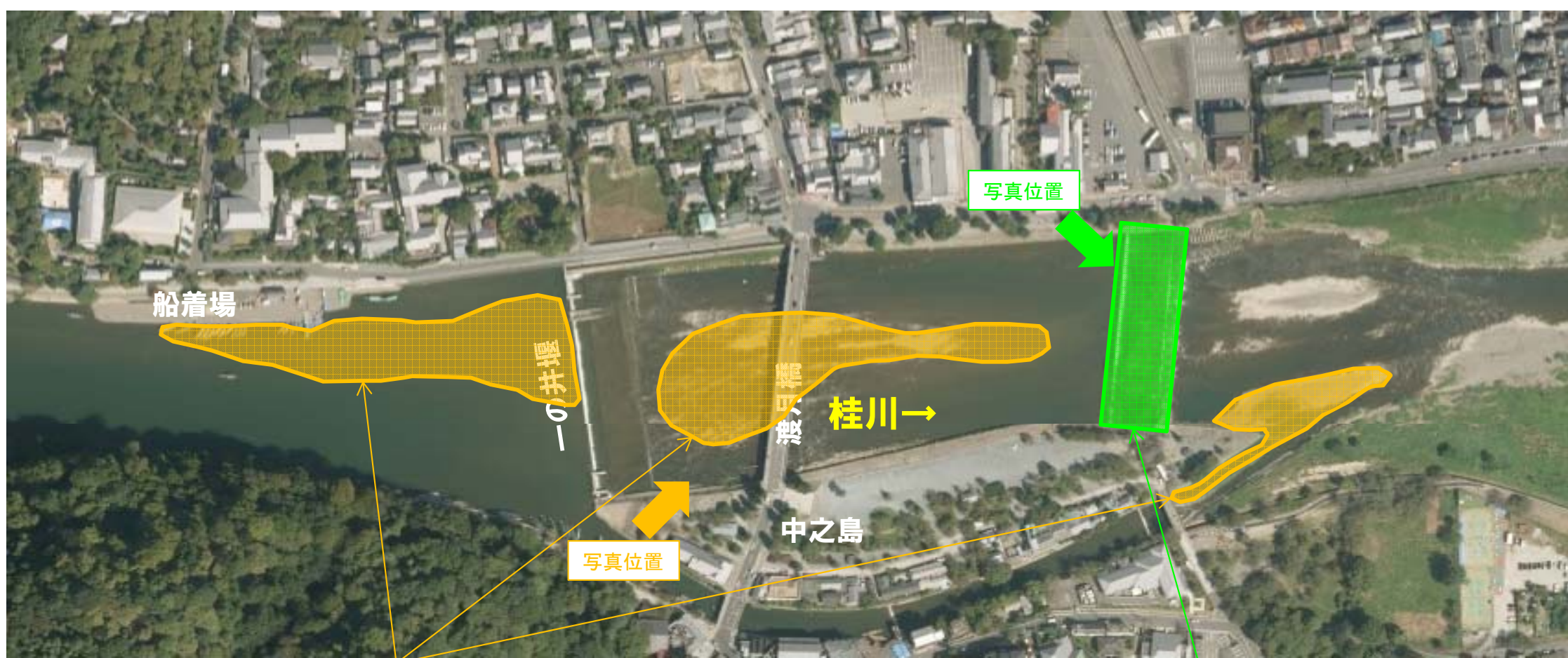
地元意見、要望をふまえ

桂川嵐山地区地元検討会設置
(平成28年3月)

地元検討会を
5回開催後、
地元意見が提出

地元意見(H29年8月)

- ①堆積土砂の撤去と河床掘削
・下流への影響をふまえた堆積土砂撤去、渡月橋への影響を考慮した河床掘削
- ②中之島開削
・よりよい景観づくり、公園利用に支障がなく、水と親しむ憩いの場としての整備
- ③パラペットの設置
・可動式(可搬式)パラペットの検討及びパラペット設置以外での安全高確保の方策



堆積土砂撤去 (H27完了)



6号井堰撤去 (H29完了)



治水対策の効果(平成29年10月台風21号)

これまでに実施した堆積土砂撤去及び6号井堰撤去により、洪水時のピーク水位を約0.5m低下できたため、中之島公園の浸水を回避。

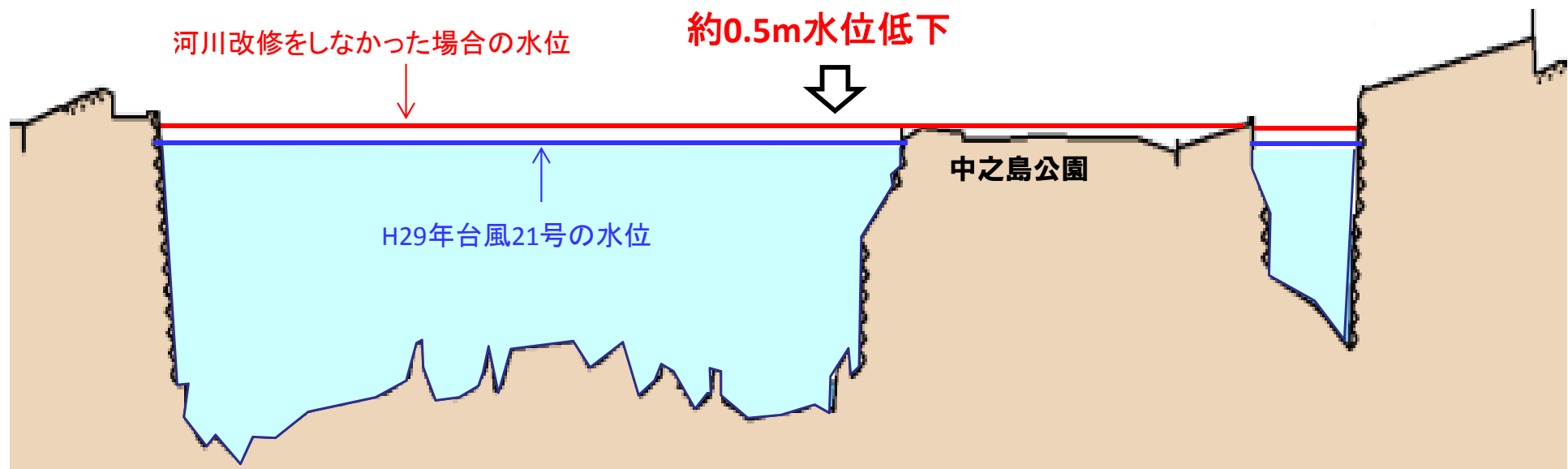
左岸船着き場付近の状況 (平成29年10月23日1時頃)



中之島の状況 (平成29年10月23日6時頃)

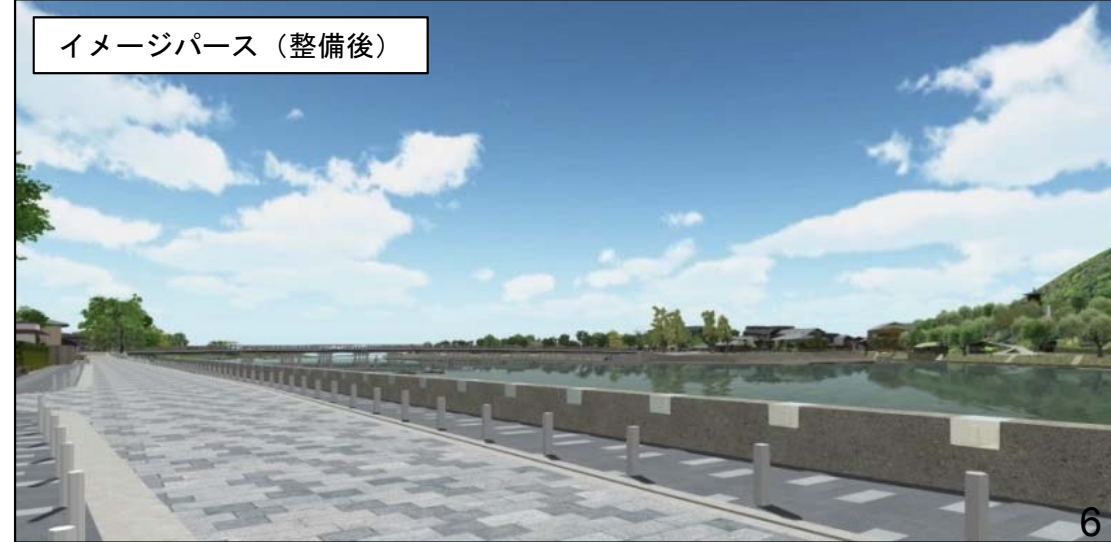
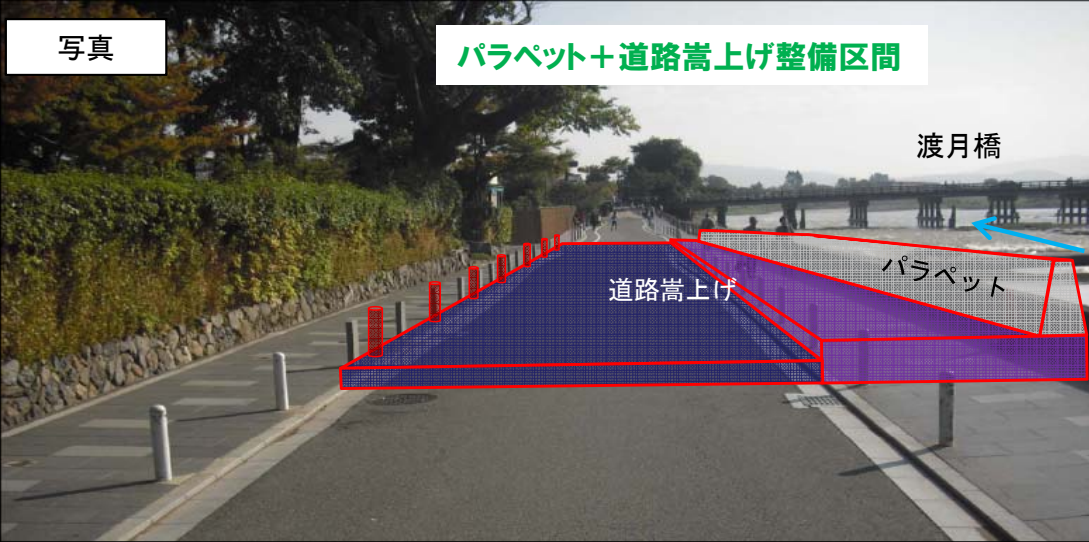
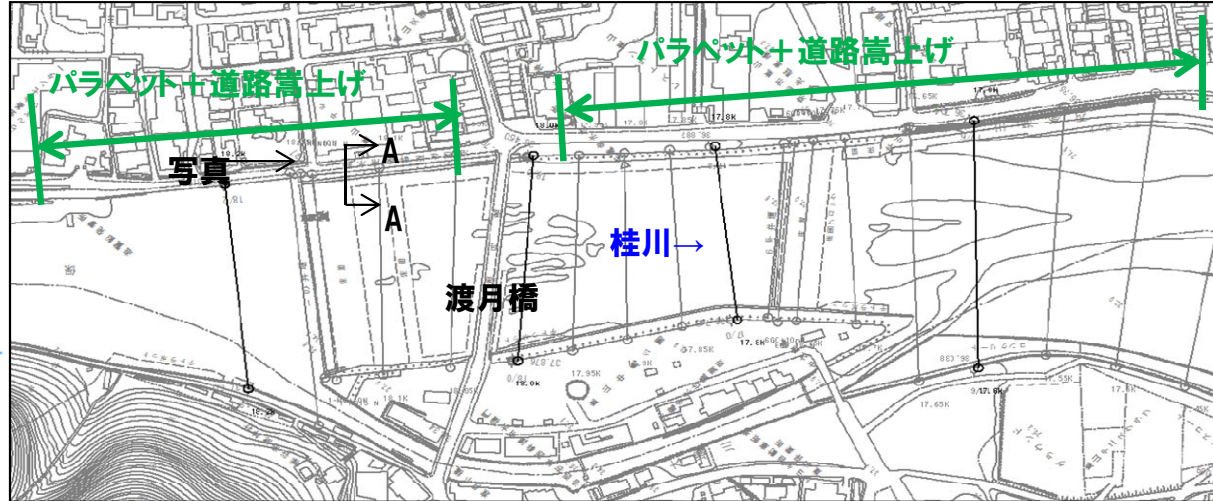
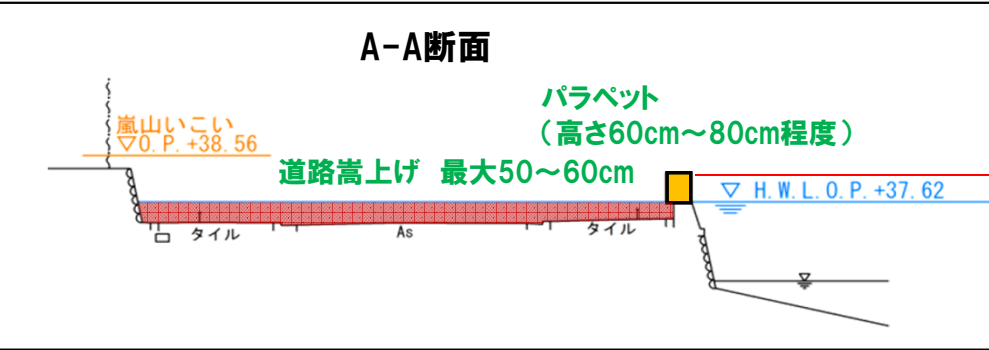


嵐山地区(18.0k地点)における水位低減効果



- (主な意見)
- 第1回 (H28. 3. 3) ・ 堆積土砂撤去を継続してほしい。
 - 第2回 (H28. 6. 24) ・ H16洪水対応の対策では、H25洪水に対して意味をなさないのではないか。
 - 第3回 (H28. 8. 25) ・ **パラペット以外にも洪水を防御する方策はあるのではないか。**
 ・ **パラペットで人と水辺を分断されてしまう。**

これまでの提案
パラペット+道路嵩上げによる溢水対策



- ・ 浸水している店舗まで分かる程度の大判図面を用いて、嵐山地区の浸水リスクと、浸水リスクに対する治水対策（パラペット及びパラペット以外の対策）について説明。
- ・ 浸水リスク、パラペット＋道路嵩上げの効果について、一定の理解を得た。
- ・ 地元から、「**現地にパラペットの模型を設置**することで、景観への影響がどの程度か確認したい」との要望。

(概要)

- 開催日時：平成29年7月5日(水)
- 開催場所：天龍寺 友雲庵
- 出席者：地元メンバー 29名
- 説明内容
 - ・ 嵐山地区の浸水リスクについて
 - ・ 浸水リスクに対する治水対策とその効果

(開催状況)



○地元からの主な意見

- ・パラペット＋道路嵩上げは**景観への影響が大きい**。
- ・渡月橋下流は、水位を下げる方策を先行してほしい。
- ・渡月橋上流は、可動式のパラペットを検討してほしい。

(概要)

- 開催日時：平成29年7月26日(水)
- 開催場所：桂川左岸 渡月橋周辺
- 出席者：地元メンバー 20名
- 説明内容
 - ・実物大のパラペット模型にて
景観への影響を確認

(開催状況)



○渡月橋下流(臨川寺公園)
川に近い空間で、ベンチに腰掛けて川を眺める観光客が多い



○渡月橋上流
店舗側の歩道も嵩上げする場合、石積みが半分程度消失



○渡月橋上流
店舗の玄関から桂川を望むと、水面がほぼ見えなくなり、山と川のコントラストが損なわれる



○渡月橋上流 旅館2F宴会場より
道路が嵩上げされ、さらに壁が立つと、店側からすると圧迫感があるとの意見

○地元からの主な意見

- ・ 中之島を水面と同じくらいに切り下げれば、スペースの広さも確保でき、水辺に容易に近づくこともでき、洪水も流れやすくなる。
- ・ 店舗と広場の連続性、安全性、下流や対岸への影響について配慮が必要。
- ・ 今回の意見は個人のもの、具体的な検討材料が提供されれば地域として検討する。

(概要)

- 開催日時:平成29年10月27日(金)
- 開催場所:桂川左岸 渡月橋周辺
- 出席者 :地元メンバー 20名
- 説明内容
 - ・ 台風21号出水状況
 - ・ 中之島についての意見確認

(開催状況)



③パラペットの設置

可動式（可搬式）パラペットの検討、及びパラペット設置以外での安全高確保の方策。

①堆積土砂の撤去と河床掘削
必要に応じての堆積土砂、中洲の撤去（渡月橋下流～松尾橋）。

②中之島開削

季節毎の催し等になるべく支障がなく、水と親しむ憩いの場として整備、構築されるなら開削を進めてもよいのでは。ただし、多くの材料を揃えての議論が必要。

可動式(可搬式)を含む左岸溢水対策の検討

道路を含む臨川寺公園の嵩上げ等の検討

渡月橋の影響を考慮した、河床掘削による水位低下方策について検討



ソフト対策

- ・洪水情報の充実
- ・地区防災計画(タイムライン等)の検討
- ・まち全体で浸水を防ぐ対策の検討

親水性を考慮した中の島開削について検討
有識者委員会でも慎重な議論・検討が必要と位置づけ
地元のご意見をよくお聞きし、合意形成を図りながら検討を実施